

無料
期間限定!

大腸がん検診・HPV検査のご案内

健康保険組合では、皆様の健康管理のお手伝いとして、ご自宅で簡単にできる郵送検診を実施しています。今年度の検査項目は、①大腸がん検診と②HPV(ヒトパピローマウイルス)検査です。HPVは子宮頸がんの原因とされるウイルスです。子宮頸がんの予防及び大腸がんの早期発見・早期治療のため、この機会を利用して一人でも多くの方が受診されますようお願いいたします。

記

検査項目	検査方法	対象年齢	備考
大腸がん検診	便潜血検査	●35歳以上(令和5年3月31日現在)	2日分の便を採取します。食事制限不要。
HPV検診	ウイルス検査	●20歳以上(令和5年3月31日現在)	妊娠中の方は検査の申込ができません。 乳がん自己触診チェックカード1枚同封

NEW

※検診の詳細内容は、裏面をご覧ください

- ① 検診費用 全額健康保険組合が負担します。個人負担はありません。
- ② 申込方法 下記申込書に必要事項をご記入の上、健康保険組合までFAX又は郵送でお申込ください。
- ③ 申込締切日 **令和4年10月31日(月)** できるだけ早めに申込んでください。
- ④ 器具の送付 申込締切後、取りまとめて検査機関へ申込書を送付します。器具の送付は11月中旬以降になります。説明書をよく読み、問診票と採取した器具を同封の封筒に入れ、ポストに投函してください。
- ⑤ 返送締切日 検査機関への器具郵送は**令和4年12月15日(木)**までです。
検査器具を検査機関へ返送しない場合は、健康保険組合が負担する器具代金等の費用が無駄になりますので、**検査器具を必ず返送する意志を持って申込してください。**
- ⑥ 検査結果 検査の結果は約3週間で個人宛に通知されます。
結果が陽性の方には、検査機関からの受診勧奨もあります。必ず精密検査を受けてください。また、病院紹介、紹介状の作成(無料)も可能です。直接下記の検査機関にお問合わせください。
- ⑦ 検査機関 〒604-0827 京都市中京区高倉通二条下ル瓦町550メスビル内
メスブ細胞検査研究所(京都府登録衛生検査所第38号) TEL(075)231-2230(平日9時~17時)

◎申込書にご記入いただいた個人情報、当健康保険組合の「個人情報保護管理規程」等に基づき慎重に取扱い、郵送がん検診以外の目的では使用いたしません。

キ リ ト リ

令和4年 月 日

広島県自動車販売健康保険組合 御中
〒733-0036 広島市西区観音新町2-4-25
FAX:082-292-8779

保険証の 記号	保険証の 番号	
被保険者氏名		

受診者氏名	送付先住所および電話番号	続柄	生年月日(西暦) 性別・年齢	希望する検査に ○印をつけてください
フリガナ.....	〒 - TEL() -	本人 家族	西暦 年 月 日 (歳)男・女	大腸・HPV
フリガナ.....	〒 - TEL() -	本人 家族	西暦 年 月 日 (歳)男・女	大腸・HPV

【ご注意】この申込書に書かれた住所・氏名に検査器具と送付いたしますので、正しくはっきり書いてください。
対象者が3名以上の場合はコピーしてお申込ください。

大腸がんは早期発見・早期治療が大切

—早期発見・早期治療ならほぼ100%治ります—

大腸がんは
誰にでもかかるリスクがあります。

近年、食生活が欧米化し、特に食物繊維不足等により腸内環境が悪化し、がんが発生すると言われてしています。

便潜血検査は大腸がん検診の第一歩です。

最新予測

がん罹患率 **第1位**

がんでの死亡原因 **女性第1位**

男性第2位

出典:国立がん研究センターがん情報サービス2022年のがん統計予測

2日分の便を採取して便の中に血液が混じっていないかを調べます。下部消化管（小腸、結腸、直腸、肛門）からの出血がある場合は、陽性反応がでます。比較的若い方に発症しやすく、近年増加傾向の炎症性疾患（潰瘍性大腸炎・クローン病）の発見機会にもなります。



子宮頸がんのリスクがわかる!

子宮頸がん検診（**無料**）自宅でご都合のいい時にできます

HPV検査

子宮頸がんの原因と言われている
ハイリスク型ヒトパピローマウイルス（HPV）の感染の有無を調べる検査です



HPV検査って
なあに?



今までの
検査は!

細胞診

子宮壁・頸部の細胞を顕微鏡で調べます。
がん細胞や異型細胞（前がん状態）の段階を見つめます。



前がん状態・がんを見つける!

※妊娠中の方は申込みできません

HPV検査

HPV感染の有無を調べます。

採取した細胞中のHPVの存在を調べるため非常に精度が高い検査です。

がんになる原因のHPVに感染しているかが分かる!

今年の
検査は!

がんになっていなくても、HPVに感染していることがわかれば、将来病変が進行したり、子宮頸がんになるかもしれないというリスク予測が可能になります。

（ハイリスク型HPVに感染していても必ず子宮頸がんになるわけではありません。）

HPV検査で陽性だった場合、

まずは医師による子宮頸がん検診（細胞診）を受けてください。

その結果が「異常なし」であれば、HPV検査が陽性であっても驚くことはありません。

HPV検査で陽性の結果を受け、不安になる方がいらっしゃいますが、90%が自己免疫により自然消滅します。

多くは一過性の感染ですが、気づかないうちに「前がん病変」や「がん」に進行しないように、**HPV検査で陰性を確認するまで一定の間隔で医師による経過観察を続ける必要があります。**

● HPV検査器具 ●



タンポン状の器具を膣に入れ子宮頸部の細胞をとります。

● 乳がん自己触診チェッカー付き ●

乳がんは、身体の表面に近い部分に発生するので、自分でも発見可能です。

がん検診に加え、乳がんセルフチェッカーを使って毎月1回、自分で触ってチェックしましょう!



自己触診チェッカー

陽性だったら
がんなの?



受診後も安心! 結果が有所見であった方は、必ず精密検査を受けましょう

【注意事項】

- ・郵送検診は自覚症状のない方を対象にしています。すでに自覚症状や気になることがある方は医療機関をご受診ください。
- ・郵送検診はスクリーニング検診（一次検診）であり、検診結果は病名を診断するものではありません。要精密、陽性の結果が出た場合は、速やかに医療機関を受診されることをお勧めします。
- ・郵送検診の検査結果のみで病名を判断できるものではありません。「異常なし・陰性」の結果の方も、自覚症状や気になることがある方は医療機関を受診されることをお勧めします。